

## レンタル荷主業者からの、“安全作業”について

2015/09/07

- ヘルメット・安全靴の着用
- 免許証・資格証の携帯
- 搬入、搬出時の過積載の禁止（高さ、長さ、幅についても確認）
- 作業前点検時 ワイヤー、玉掛け用具、フックの外れ止めの確認
- ユニックのアウトリガーの完全張り出し、敷き板の使用、規定荷重の確認、周囲の安全確認
- 建設機械、ユニックの作業半径内、立ち入り禁止措置（カラーコーン等）
- ハウス組立て・解体時、脚立・屋根からの転落に注意
- 荷締めの確認（輸送途中時も確認）
- 伝票のサインは、担当者不在の場合は、荷主に報告し指示にしたがい、伝票に状況を記入する

## 動き出した自分の車の“下敷き”、男性死亡

2015年9月7日(月)

7日午前6時20分ごろ、栃木県で、男性が乗用車の車体下部に巻き込まれるのを通り掛かった人が目撃し、近くの交番に通報。男性(67)が救助されたが、搬送先の病院で死亡が確認された。警察によると、路肩に止まった車から男性が降りたところ、車が後方に動き出し、手で押しとどめようとして巻き込まれたらしい。発見時、エンジンはかかったままで、ギアはバックに入り、サイドブレーキも引かれていなかった。

### 日没前後の交通事故死 9月以降に大幅増

#### 「こんなところに人が！」(対歩行者事故)

- ・「停車」している車があるときは、その「直前」、「直後」からの「横断歩行者」を警戒して、「車の陰」に「しっかり」目配りしましょう

ドライバーは、“こまめに休憩！” “重大事故”が発生してからは、“遅い”

#### 2時間ごとに、15分休憩！

大型スーパー付近、高齢歩行者の“危険横断”に注意！

十勝管内の労災事故 ⇨ “墜落・転落”が30%

十勝管内の労災事故 ⇨ “40歳～50歳台”の“ベテラン”が多い

トラック事故の特徴 “追突事故”が多い  
「肝心なもの」を見る、「注意力」を養う

“1人で作業” 荷台からの“転落”、“はさまれ”注意

バック時は 降りて確認 乗っても確認

交差点手前で止まる時は、車1台分のスペースを空けて止まる

交差点 「右左確認/よ～し！」

## “一時停止”の交差点 出合い頭に衝突 男性1人重体

2015年9月7日

7日午前8時ごろ、栃木県の交差点で、無職男性(87)の乗用車と、会社員男性(52)の乗用車が出合い頭に衝突した。無職の男性は心肺停止の重体。無職の男性の車の進行方向に一時停止規制があったという。

## 雨降り、ワゴン車横転し、若い男女が外に投げ出され、死亡

2015.9.7

6日午後10時40分ごろ、福井県でワゴン車が横転し、アルバイトの女性(20)と、20歳前後の男性が外に投げ出され、頭を強く打ち死亡した。運転していた少年(18)ら同乗の4人も重軽傷を負った。高速隊によると、死亡した女性と男性ら、後部座席にいた4人が外に投げ出されたという。6人は格闘技の大会の帰りで、事故当時、現場は雨が降っていた。

## “一時停止”の交差点、右折時、88歳女性はねて死亡させる

(2015年09月05日)

交通死亡事故多発警報発令中の死亡事故です。4日午後3時15分ごろ、富山県の信号機のない交差点で道路わきを歩いていた88歳の女性が乗用車にはねられ事故からおよそ9時間後に死亡しました。運転していた71歳の男性が交差点を右折した際、女性をはね、さらに、止まっていた軽乗用車にも衝突しました。乗用車の側に一時停止の標識がありました。警察では、乗用車を運転していた男性が前方をよく見ていなかったものとみて詳しい事故の原因を調べています。